

薬剤師編 悪い対応

【薬剤師編】

■悪い対応

会社員の高野さん。配置替え後の慣れない人間関係や、不慣れな仕事への戸惑いから、業績が落ちこみ、上司に指摘される日々。自責的となり、意欲がない、食べられない、眠れない、だるい、という状態が続きます。

糖尿病の高野さん、この日は定期受診後、内服薬を受け取るため、処方箋を持って薬局を訪ねました。

男 性：（薬局の入り口に入る。そして、受付にいる薬剤師に処方箋を出す）

薬剤師：

（受付に来たことに気付かない）



男 性：（薬剤師が気付くのを待っているが気付かないので、か細い声で、声をかける）
お薬お願いします。

薬剤師：（奥で作業しながら）
あっ、そちらに処方箋入れがありますので、そこに入れてお待ちください。

男 性：はい（うつむきながら処方箋を置き、受付のそばで立って待っている）

薬剤師：（しばらくすると薬剤師が受付にくる。）高野さん？

男 性：はい。

薬剤師：お薬手帳は？

男 性：はい。持ってきました。

薬剤師：そちらもお出しください。

男 性：はい。

薬剤師：できましたら呼びしますので、そちらにお掛けになってお待ちください。

男 性：（思いつめた様子で待合の椅子に座る。ため息をつき、元気がない様子。)

薬剤師：（薬を持ってくる）高野さん、お待たせしました。

男 性：（受付に行く）

薬剤師：（処方箋を確認しながら、名前を確認し、薬を出す）
高野さんですね。

男 性：はい。

薬剤師：お薬、いつもと同じお薬ですけども、変更ございましたか？

男 性：ないと…言われました。

薬剤師：では、1日1回、朝食前に1錠お飲みください。これ、4週間分出ております。

男 性：ありがとうございます。（何か言いたそうにしている）

薬剤師：はい、こちら、お薬手帳です。

男 性：はい…

薬剤師：では、お会計は、1250円です。

男 性：はい（元気がなく、うつむきながらゆっくりとお金を出す）。



薬剤師：はい、1250円ちょうどお預かりいたします。では、お大事に。

男 性：はい…

（おつりを受け取っても、受付から離れず、何か、言いたそうにしている）

薬剤師：（立ち去らない男性に対して）
これで終わりになりま
すけど、何か？



男 性：いえ、特に。でも…。
（悩んでいる様子）

薬剤師：どうされました？（イライラした様子）

男 性：ええっと…最近眠れなくて…眠れるようになる薬ってあるんですか？

薬剤師：睡眠薬ですか？
今回は、いつものお薬で、睡眠薬は処方されていませんよ？



男 性：それを飲めば、眠れるようになるんですか？

薬剤師：いや、処方するのは、先生がすることはですから、そういうことは先生に相談してみてください。



先ほどの受診の時、先生に相談されませんでしたか？

男性：いいえ。糖尿病でかかっているのに、眠れないとかは…診てもらえないんじゃないかと思って…

薬剤師：先生は、医師ですから、そういうこと相談をしてもいいですよ。今度の受診の時に相談したらどうですか？



男性：次の受診は、4週間後なんです…ここ最近、特にひどくて…辛いんです。

薬剤師：ここで、そんなこと言われましてもね…



男性：辛くて、生きているのがいやになるくらいなんです…。



薬剤師：生きていくのがいやだって、まさか、死のうなんて考えているんですか？

男性：そう思うこともあります…

薬剤師：うーん・・・眠れなくて、そんな風に考えちゃうんですか・・・
でも、ここは、病院じゃないんで、診察できないんですよ。そういうことは、先生にちゃんと伝えていただかないと。



男性：すみません（うなだれる）

薬剤師：じゃあ、もう一度、病院に戻って、相談したらどうですか？

男性：でも、今日はもう、診察終わったのに、また、戻って行ってもいいんでしょうか？



薬剤師：それは、わかりません。病院の受付に聞いてみてください。



男 性：はあ…

薬剤師：そろそろよろしいですか？



男 性：すみません。（とぼとぼと、薬局を後にする）